令和6年度 福岡県循環器病対策推進協議会

*2025/2/4*福岡

福岡県循環器病総合支援センターの2か年の活動

国立病院機構　九州医療センター副院長
福岡県循環器病総合支援センター実務統括者
岡田　靖

演者は日本脳卒中学会に利益相反（COI）に関する届け出をしています。
本講演に関するCOIはありません。

NHO九州医療センター 病院診療機能の概要

担うべき医療、求められる医療を遂行し、改善と発展を続ける

令和5年度から福岡県循環器病総合支援センター（脳卒中・心臓病等）

- 702床（一般652, 精神50, 第2種感染症指定施設）
- 高度総合医療施設（急性期充実体制加算）
- 救命救急センター（県内10か所）
- がん診療連携拠点病院
- DPC特定病院群（高診療密度病院群）
- 地域医療支援病院（福岡市第1号）
- 臨床研修指定病院/単独型
- 専門医研修基幹施設（内科・外科・総合診療）
- 病院機能評価認定施設(一般病院2)
- HIV九州ブロック拠点病院、福岡県災害拠点病院
- 赤ちゃんにやさしい病院(BFH)認定施設
- 日本脳卒中学会認定脳卒中センターコア施設

診療科の垣根が低く、ハイリスクな合併症を有する心臓病、脳卒中、
がん、血液・造血器、感染症、肝胆膵・消化管、呼吸器、周産期、免疫疾患、
内分泌・代謝、腎臓、感覚器、骨・運動器、精神疾患等の高度総合診療に
強みを発揮する病院として地域医療・救急隊からの信頼が厚い

九州医療センター臨床研修マニュアル第２版　2024年度版より一部引用改変

第２期循環器病対策推進基本計画（令和５年３月28日閣議決定）　概要

全体目標　2040年までに３年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策　循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備　循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

１．循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

○　循環器病の発症予防及び重症化予防
○　子どもの頃からの国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
○　循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

２．保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
② 救急搬送体制の整備
③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
④ リハビリテーション等の取組
⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
⑥ 循環器病の緩和ケア
⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

３．循環器病の研究推進

○　循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進
○　科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

（１）関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
（２）他の疾患等に係る対策との連携
（３）感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策
（４）都道府県による計画の策定
（５）必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化
（６）基本計画の評価・見直し

<循環器病の特徴と対策>

福岡県循環器病対策推進計画概要

第1期推進計画(2年）と第２期推進計画(6年)

健康増進課 - 福岡県庁ホームページより
https://www.pref.fukuoka.lg.jp/

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の概要

事業概要

- **循環器病対策推進基本計画で**、「保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」として、**循環器病患者を中心とした包括的な支援体制を構築**するため、多職種が連携して、総合的な取組を進めることとしているが、これまでに都道府県が医療計画などで実施している対策よりも**幅広い内容**（※）であり、各医療施設で個々の取組はされているものの**情報が行き渡っているとはいえず、全ての支援について、十分なレベルで提供することに対して課題がある**

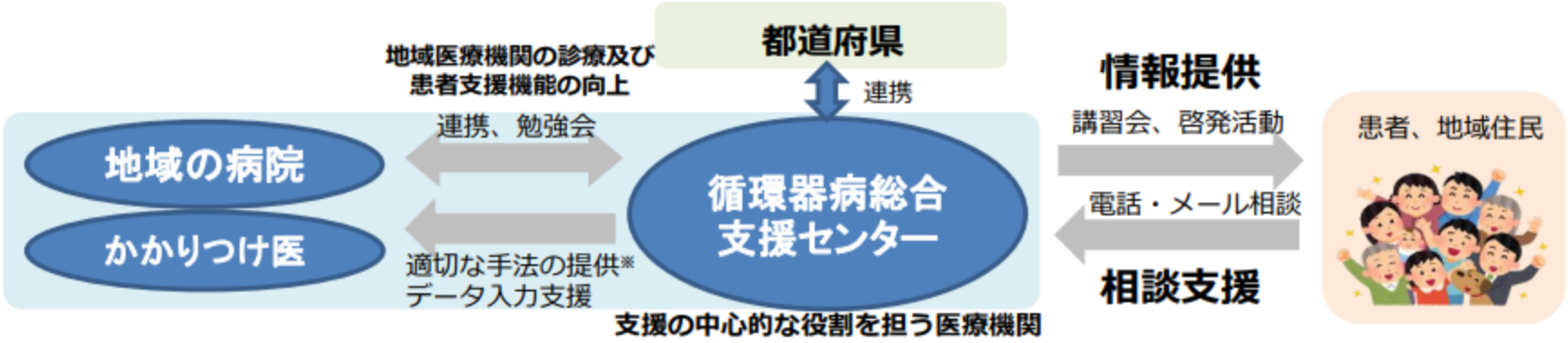
  ※具体的に、社会連携に基づく循環器病患者支援、リハビリテーション等の取組、循環器病に関する適切な情報提供・相談支援、循環器病の緩和ケア、循環器病の後遺症を有する者に対する支援、治療と仕事の両立支援・就労支援、小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策などが不十分

- この取組を効果的に推進するためには、**専門的な知識を有し、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に循環器病総合支援センター（仮称）**を配置し、**都道府県と連携**を取りながら、地域の医療機関と勉強会を開催したり、支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化することで、包括的な支援体制を構築し、地域全体の患者支援体制の充実を図るべく、まずモデル的に、**全国に10都道府県程度において先行的に実施**し、検証を行う

循環器病総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討

<役割> 循環器病に関する**情報提供**及び**相談支援**の、地域における核となり中心的な役割を担う



<センターに求められる要件（案）> 支援の中心的な役割を担うことから、各疾患に対して専門的な知識が求められることを想定

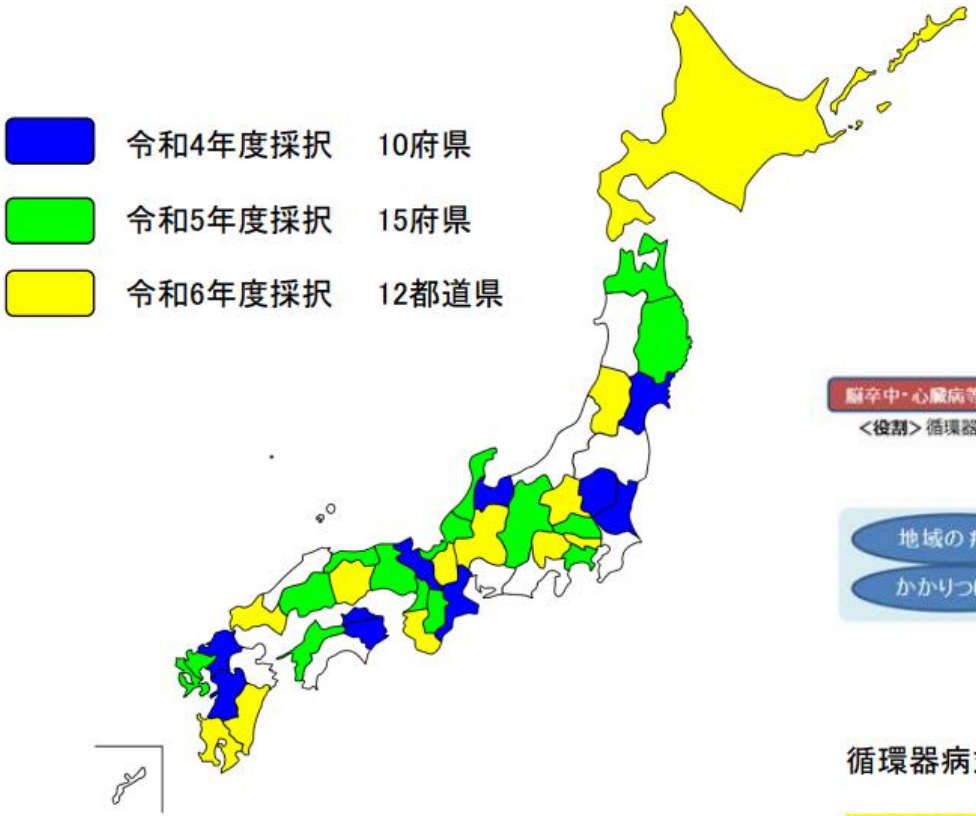
- 先天性疾患に対する診療、外来リハビリテーション、緩和ケア等、循環器病に対する総合的な診療を行える施設であり、地域の病院、かかりつけ医などとも密接に連携が取りながら、データ入力の支援等もできること　（※詳細はR3年度特別研究で検討中）
- 自治体との密な連携が取れ、循環器病の後遺症を有する者に対する支援及び治療と仕事の両立支援・就労支援を行っていること

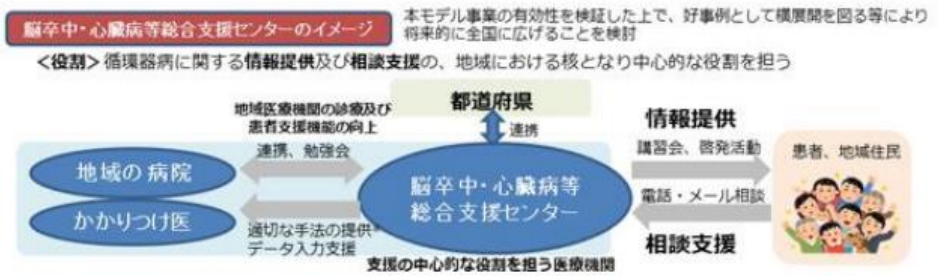
期待される効果：地域医療機関の診療及び患者支援機能の向上が可能となる
国民がワンストップで必要な情報を得られるとともに、より効率的かつ質の高い支援が可能となる

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33937.html

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の進捗状況

脳卒中・心臓病等総合支援センター





循環器病対策推進基本計画の患者支援に関する重点施策を

各都道府県のハブとなって行政・地域医療機関・各団体と連携して進める

2024年4月現在、37都道府県で採択、2025年度モデル事業で全国に普及予定
各県で後継事業として循環器病総合支援センター機能が維持発展できるかが課題

福岡県循環器病(脳卒中・心臓病等)総合支援センターのご案内

福岡県循環器病(脳卒中・心臓病等)総合支援センターでは心臓疾患や脳卒中疾患等の患者さんやご家族からのさまざまな相談を受け、解決策を一緒に考えていく支援を行っております。お気軽にご相談ください。

【相談窓口】独立行政法人 国立病院機構
九州医療センター 地域医療連携室
【電話番号】092-836-5003
【対応時間】平日9：00～16：00(予約制)

※相談は無料です。守秘義務を厳守いたします。
※１回15分程度

専門的な知識を有する、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、医療ソーシャルワーカー等が連携して相談に応じます。

福岡県保健医療介護部建国増進課　独立行政法人国立病院機構九州医療センター

2023年度メンバーに外部委員の脳卒中患者会代表、心臓病在宅医療医師が参加

2023年9月、ポスターを県内医療関係機関5287か所に15000枚配布、ホームページでも紹介

九州医療センターホームページ
福岡県循環器病総合支援センターを参照ください

循環器病(脳卒中・心臓病等)総合支援センター会議

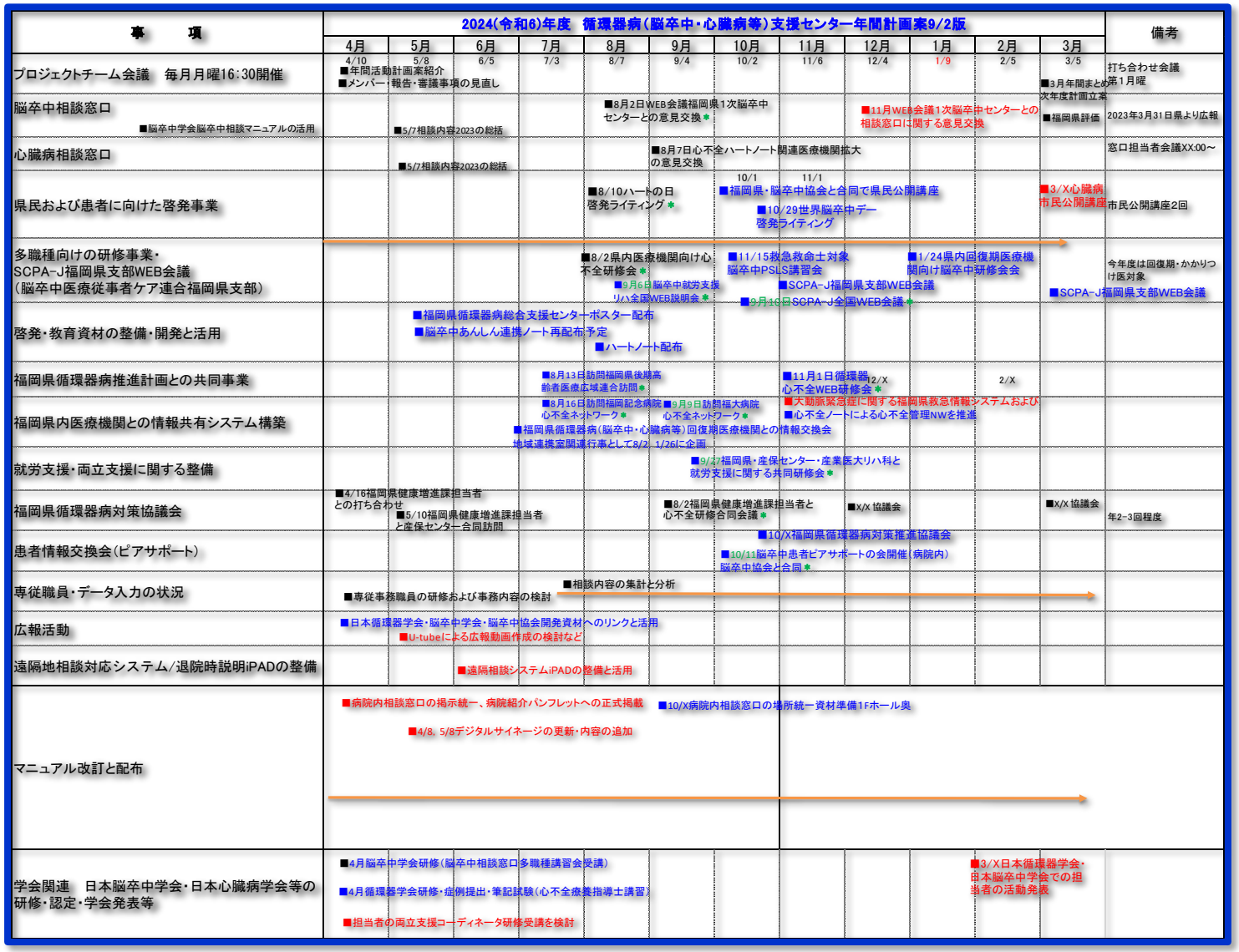
1	院長	
2	**副院長**	**実務統括者**
3	統括診療部長	
4	脳血管センター部長	脳卒中代表医師
5	循環器センター部長	循環器代表医師
6	救命救急部長	
7	リハビリテーション科医長	
8	MCセンター副センター長	**医療総合支援**
9	循環器科医長	
10	看護部長	看護部統括者
11	副看護部長	看護部副統括者

12	病棟師長	脳血管センター
13	病棟師長	循環器センター
14	地域医療連携室師長	
15	地域医療連携室副師長	相談窓口担当
16	栄養管理室長	食事・栄養
17	副薬剤部長	薬剤
18	理学療法士長	リハビリテーション
19	医療社会事業専門員（脳）	医療制度・費用相談
20	医療社会事業専門員　（心）	医療制度・費用相談
21	事務部長	事務部統括者
22	経営企画室長	医事部門統括者
23	庶務班長	管理部門担当
24	福岡脳卒中療友会会長	外部委員

医師　看護師　メディカル
医療ソーシャルワーカー　事務部
外部委員

プロジェクト会議は毎月第一月曜日16:30-17:20
1.相談事業：　受付に関するシステム作り　相談内容の収集と分析
2.研修事業：　研修の企画、関係者への依頼、案内作り
かかりつけ医、保健師、薬剤師、リハビリテーションスタッフなど
3.市民講座：　日本脳卒中協会、日本循環器学会との連携
4.資材開発：　脳卒中協会動画の活用、県独自の資材開発など

福岡県循環器病総合支援センター年間計画 R6年度



会議、相談実績、県民・患者向け事業、医療従事者向け研修会、啓発資材の開発・活用、福岡県循環器病対策推進協議会との共同事業、両立支援、患者ピアサポート、広報活動、マニュアル改訂・配布、学会・各職種団体との共催などをロードマップを示して着実に実践

【一般市民向け啓発活動】

2023/8/6	脈搏2023　トークショー、ミニレクチャー	一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会
2023/8/10	健康ハートの日　貴賓館ライトアップ	福岡県循環器病総合支援センター
2023/9/2	第14回県民公開医療シンポジウム講演	公益社団法人福岡県病院協会
2023/10/29	世界脳卒中デー　貴賓館ライトアップ	福岡県循環器病総合支援センター
2024/8/10	健康ハートの日　貴賓館ライトアップ	福岡県循環器病総合支援センター
2024/10/29	世界脳卒中デー　貴賓館ライトアップ	福岡県循環器病総合支援センター
2025/3/9	脈の日　貴賓館ライトアップ	福岡県循環器病総合支援センター

【市民・患者・医療従事者向け広報活動】

2023/6	**JSA News寄稿**	**（公）日本脳卒中協会**
2024/1	**総合リハビリテーション2024年2月号寄稿**	**医学書院**
2024/2	**m3.com　取材記事掲載**	**M3編集部**

【医療機関向け研修会、講習会の開催】

2023/8/2	第7回よかよかネットワークの会　地域で心不全再入院を防ぐ取り組	福岡県循環器病総合支援センター
2023/9/29	心不全、脳卒中後遺症に対する治療と仕事の両立支援	福岡県循環器病総合支援センター 福岡県循環器病対策推進協議会
2024/1/26	第8回よかよかネットワークの会　急性期病院から地域生活に戻るための医療連携の強化	福岡県循環器病総合支援センター
2024/8/7	第9回よかよかネットワークの会　地域で心不全再入院を防ぐ取り組み	九州医療センター地域医療連携室 福岡県循環器病総合支援センター
2024/9/27	脳卒中後遺症患者の就労支援に関するワークショップ	福岡県保健医療介護部健康増進課 福岡県産業保健総合支援センター 福岡県循環器病総合支援センター
2024/11/1	心不全在宅ケアスタッフへの研修会・地域包括ケアシステムとの協働のための研修会	福岡県保健医療介護部健康増進課 福岡県循環器病総合支援センター
2025/1/16	脳卒中患者の意思決定支援に関する調査実施に関するWEB説明会	福岡県循環器病総合支援センター
2025/1/24	第10回よかよかネットワークの会　急性期病院から地域生活に戻るための医療連携の強化	九州医療センター地域医療連携室 福岡県循環器病総合支援センター

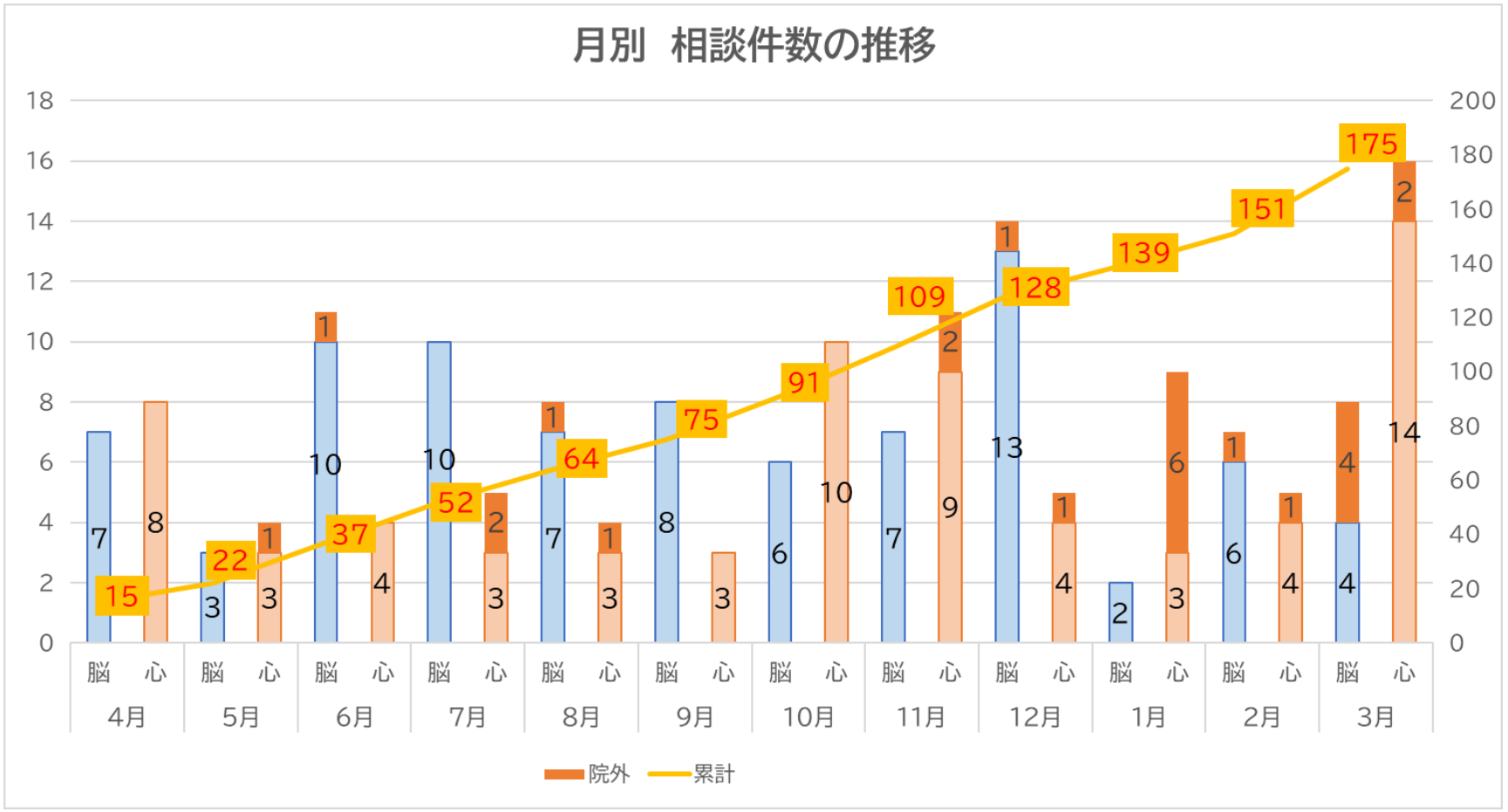
【治療や予防に関する情報提供】

2023/8～	脳卒中あんしん連携ノート　作成・配布	福岡県循環器病総合支援センター 公益社団法人日本脳卒中協会　監修
2023/10～	脳卒中あんしん連携ノート　電子版作成・HPよりダウンロード配布	福岡県循環器病総合支援センター 公益社団法人日本脳卒中協会　監修
2023/10/1～31	市民公開講座　HPより限定WEB配信	日本脳卒中協会　福岡県支部
2024/6/1	市民公開講座　心臓突然死を知りAEDで救命する	日本不整脈心電学会　九州・沖縄支部地方会
2024/10	日本脳卒中協会福岡県支部市民公開講座	日本脳卒中協会　福岡県支部
2025/3/23	循環器病に関する公開講座	福岡県循環器病総合支援センター

1. 患者相談対応実績　R5年度

年間相談件数　175件

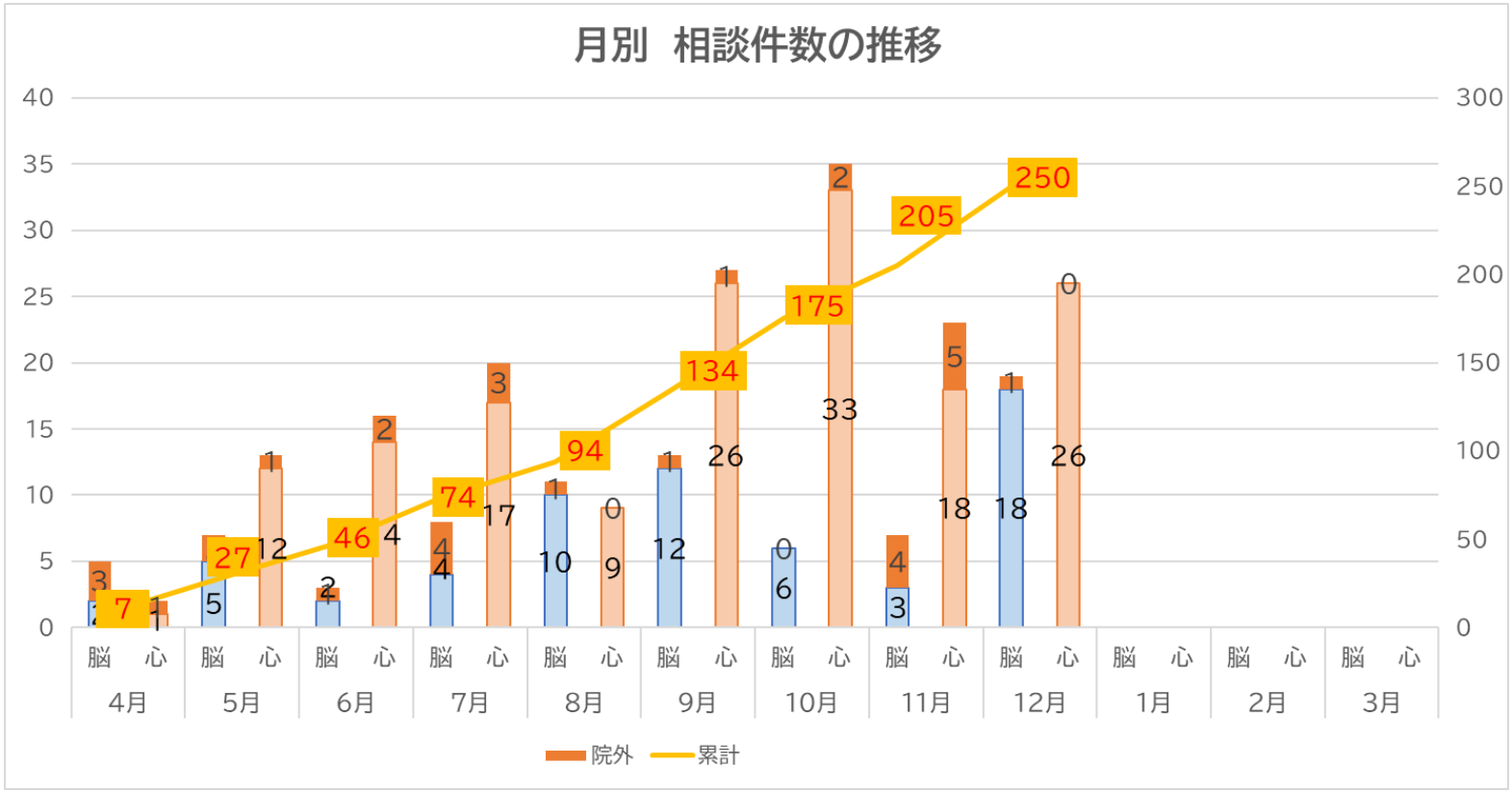
脳卒中	91件	院外	8件
心臓病	84件	院外	16件

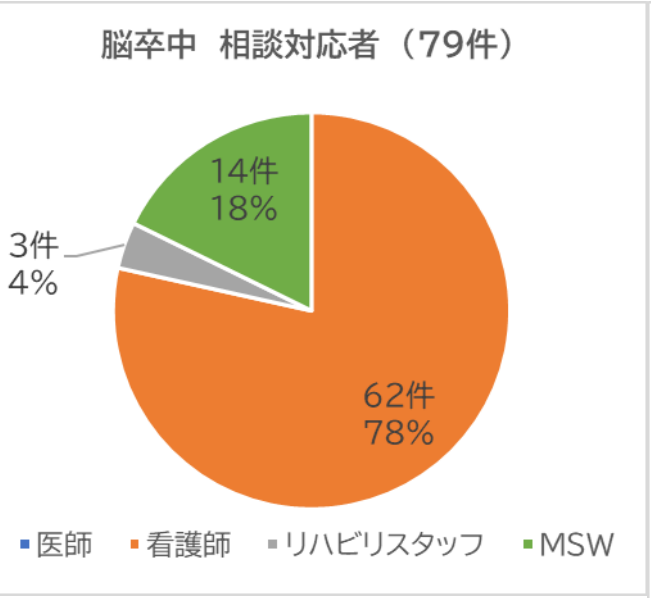


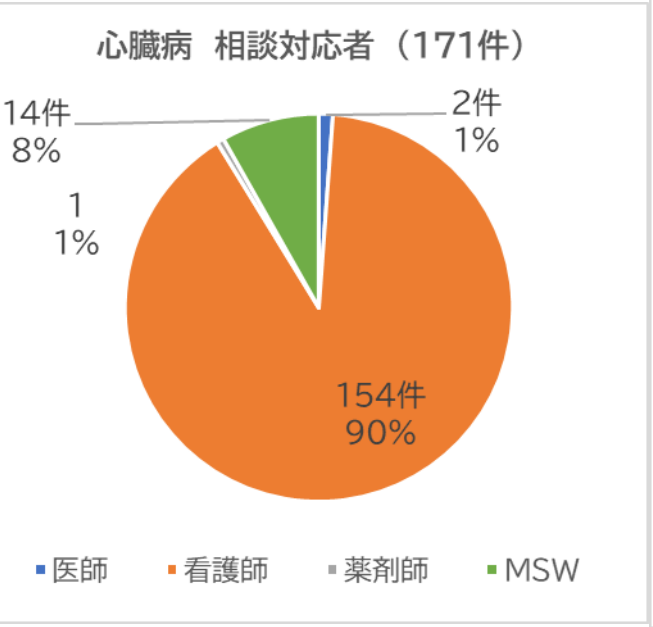
1．患者相談対応実績　R6年度

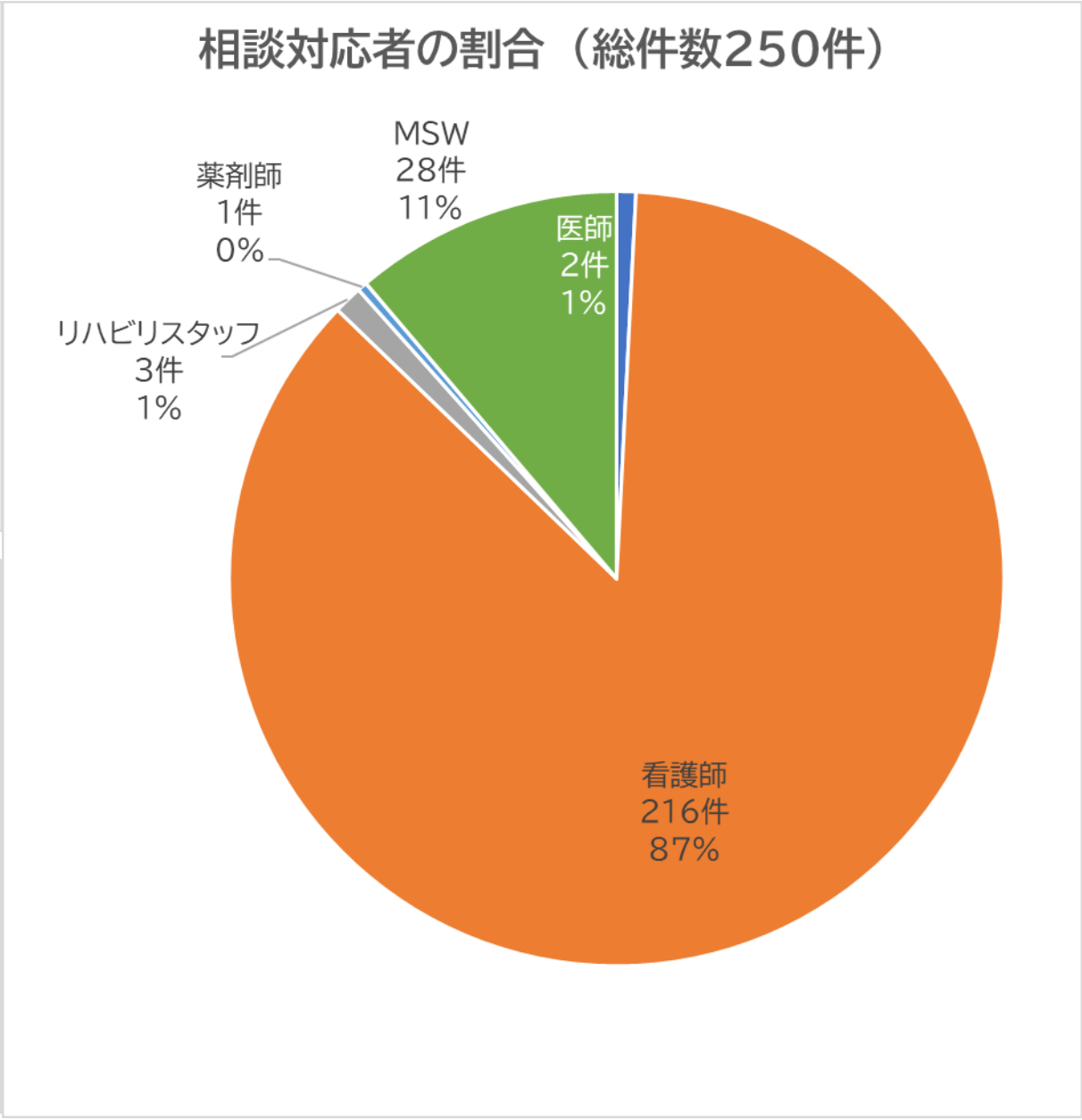
年間相談件数　250件

脳卒中	79件	院外	17件
心臓病	171件	院外	15件

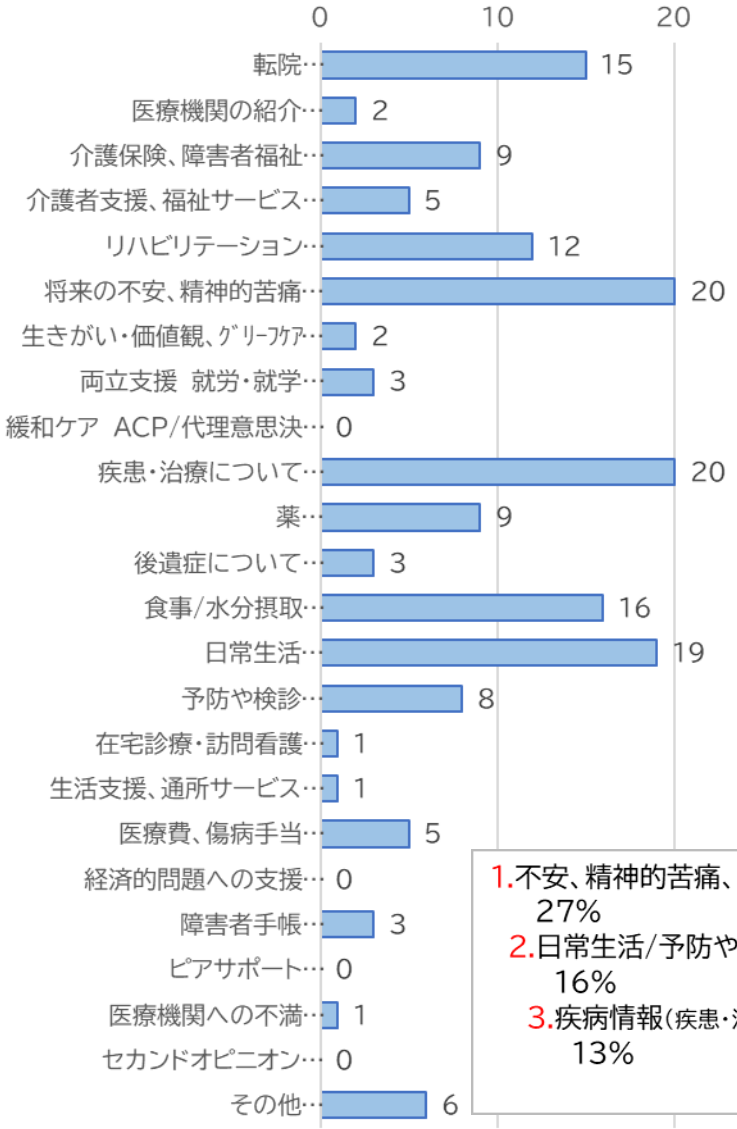



脳卒中　相談対応者（79件）
14件
18%
3件
4%
62件
78%
医師
看護師
リハビリスタッフ
MSW


心臓病　相談対応者（171件）
14件
8%
2件
1%
1
1%
154件
90%
医師
看護師
薬剤師
MSW

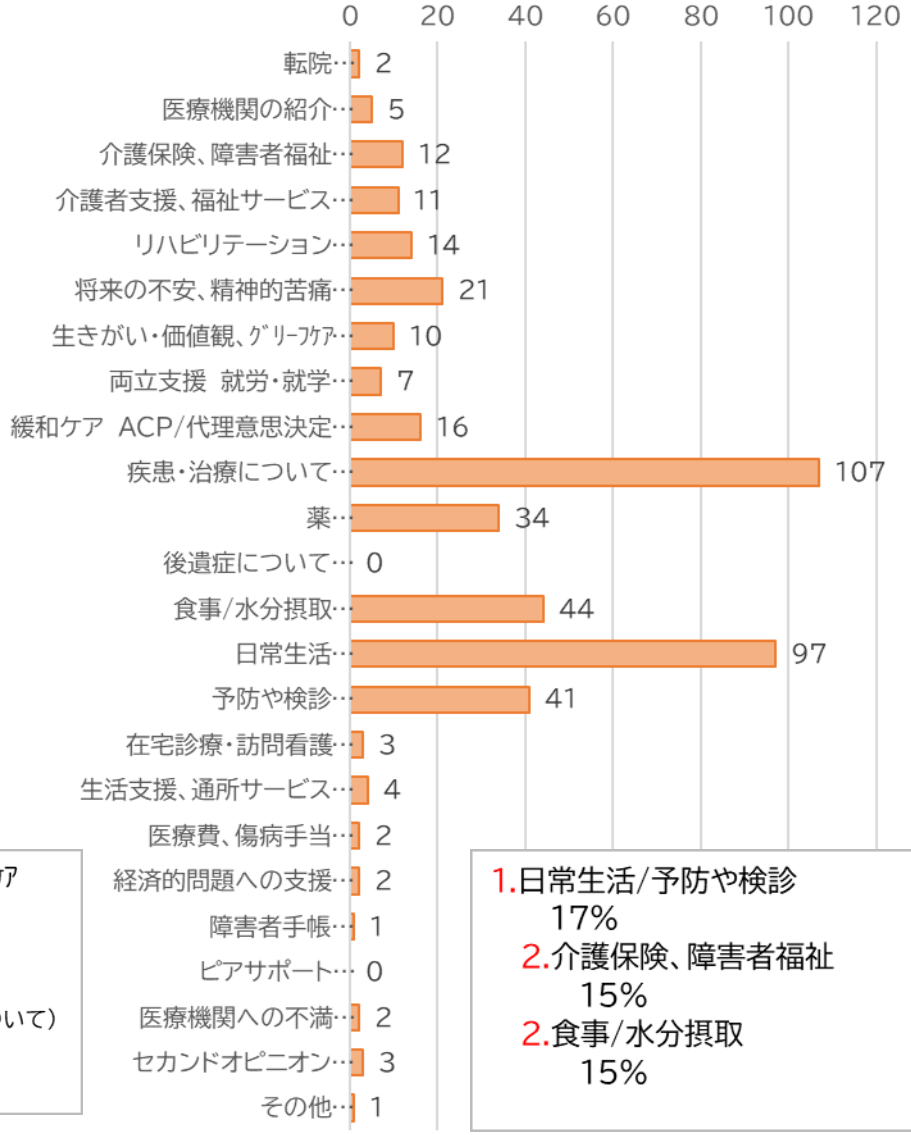

相談対応者の割合（総件数250件）
MSW
28件
11%
薬剤師
1件
0%
医師
2件
1%
リハビリスタッフ
3件
1%
看護師
216件
87%

脳卒中　相談内容(160件)



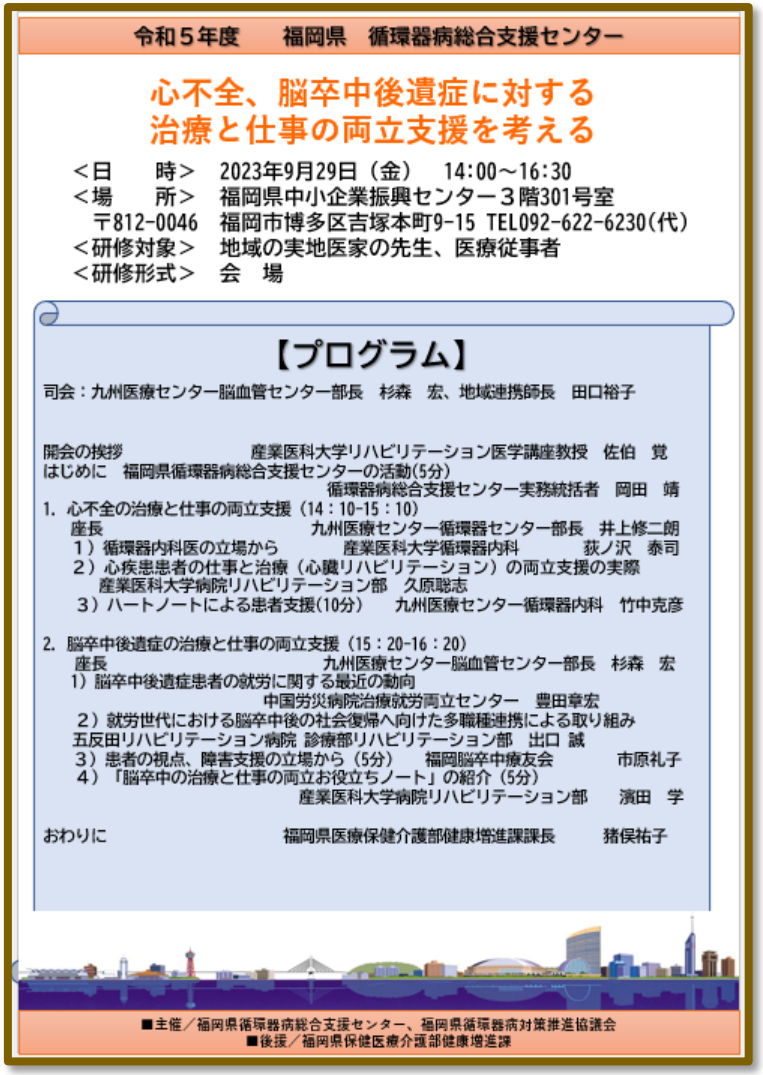
1.不安、精神的苦痛、ｸﾞﾘｰﾌｹｱ
27%
2.日常生活/予防や検診
16%
3.疾病情報(疾患・治療について)
13%

心臓病　相談内容(154件)



1.日常生活/予防や検診
17%
2.介護保険、障害者福祉
15%
2.食事/水分摂取
15%

2. 医療従事者向け研修会　R5年度　R6年度



令和５年度　福岡県　循環器病総合支援センター

心不全、脳卒中後遺症に対する
治療と仕事の両立支援を考える

＜日　　時＞　2023年9月29日（金）　14:00～16:30
＜場　　所＞　福岡県中小企業振興センター３階301号室
〒812-0046　福岡市博多区吉塚本町9-15 TEL092-622-6230(代)
＜研修対象＞　地域の実地医家の先生、医療従事者
＜研修形式＞　会　場

【プログラム】

司会：九州医療センター脳血管センター部長　杉森　宏、地域連携師長　田口裕子

開会の挨拶　産業医科大学リハビリテーション医学講座教授　佐伯　覚
はじめに　福岡県循環器病総合支援センターの活動(5分)
循環器病総合支援センター実務統括者　岡田　靖

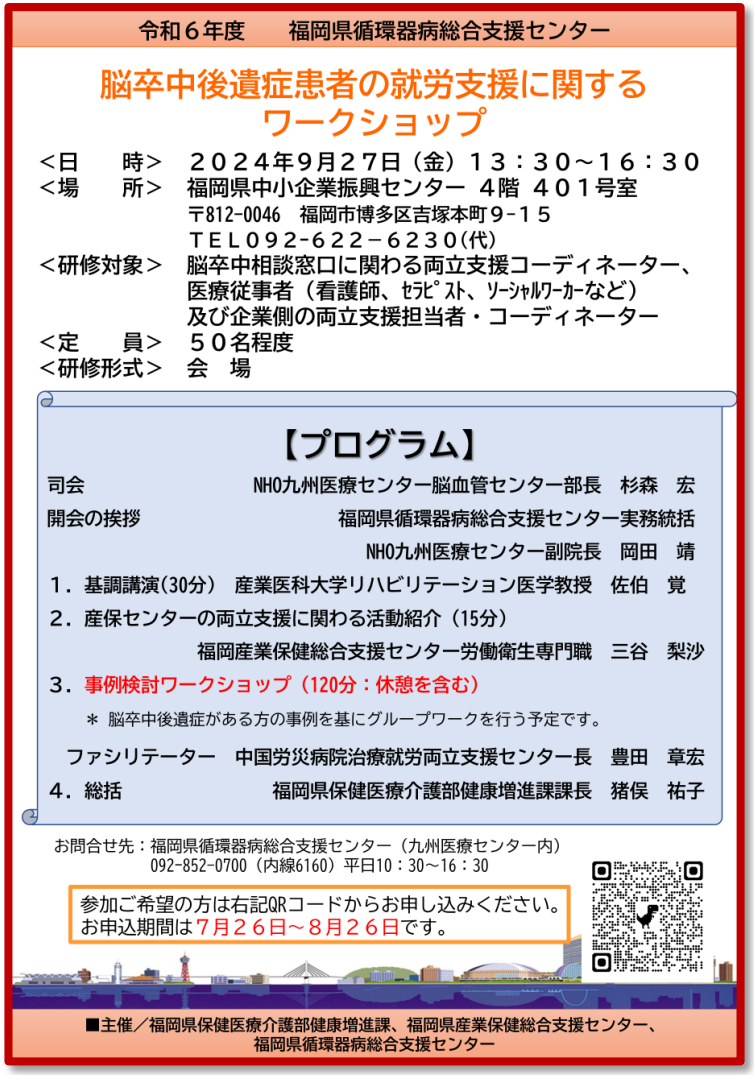
1. 心不全の治療と仕事の両立支援（14：10-15：10）
座長　九州医療センター循環器センター部長　井上修二朗
1）循環器内科医の立場から　産業医科大学循環器内科　荻ノ沢　泰司
2）心疾患患者の仕事と治療（心臓リハビリテーション）の両立支援の実際
産業医科大学病院リハビリテーション部　久原聡志
3）ハートノートによる患者支援(10分)　九州医療センター循環器内科　竹中克彦

2. 脳卒中後遺症の治療と仕事の両立支援（15：20-16：20）
座長　九州医療センター脳血管センター部長　杉森　宏
1）脳卒中後遺症患者の就労に関する最近の動向
中国労災病院治療就労両立センター　豊田章宏
2）就労世代における脳卒中後の社会復帰へ向けた多職種連携による取り組み
五反田リハビリテーション病院 診療部リハビリテーション部　出口 誠
3）患者の視点、障害支援の立場から（5分）　福岡脳卒中療友会　市原礼子
4）「脳卒中の治療と仕事の両立お役立ちノート」の紹介（5分）
産業医科大学病院リハビリテーション部　濱田　学

おわりに　福岡県医療保健介護部健康増進課課長　猪俣祐子

■主催／福岡県循環器病総合支援センター、福岡県循環器病対策推進協議会
■後援／福岡県保健医療介護部健康増進課

令和５年度福岡県循環器病総合支援センター企画
治療と仕事の両立支援（医療従事者向け）
2023年9月29日開催 参加58名



令和６年度　福岡県循環器病総合支援センター

脳卒中後遺症患者の就労支援に関する
ワークショップ

＜日　　時＞　２０２４年９月２７日（金）１３：３０～１６：３０
＜場　　所＞　福岡県中小企業振興センター　４階　４０１号室
〒812-0046　福岡市博多区吉塚本町９-１５
ＴＥＬ０９２-６２２-６２３０(代)
＜研修対象＞　脳卒中相談窓口に関わる両立支援コーディネーター、
医療従事者（看護師、ｾﾗﾋﾟｽﾄ、ｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰなど）
及び企業側の両立支援担当者・コーディネーター
＜定　　員＞　５０名程度
＜研修形式＞　会　場

【プログラム】

司会　NHO九州医療センター脳血管センター部長　杉森　宏
開会の挨拶　福岡県循環器病総合支援センター実務統括
NHO九州医療センター副院長　岡田　靖
１．基調講演(30分)　産業医科大学リハビリテーション医学教授　佐伯　覚
２．産保センターの両立支援に関わる活動紹介（15分）
福岡産業保健総合支援センター労働衛生専門職　三谷　梨沙
３．事例検討ワークショップ（120分：休憩を含む）
＊ 脳卒中後遺症がある方の事例を基にグループワークを行う予定です。
ファシリテーター　中国労災病院治療就労両立支援センター長　豊田　章宏
４．総括　福岡県保健医療介護部健康増進課課長　猪俣　祐子

お問合せ先：福岡県循環器病総合支援センター（九州医療センター内）
092-852-0700（内線6160）平日10：30～16：30

参加ご希望の方は右記QRコードからお申し込みください。
お申込期間は７月２６日～８月２６日です。

■主催／福岡県保健医療介護部健康増進課、福岡県産業保健総合支援センター、
福岡県循環器病総合支援センター

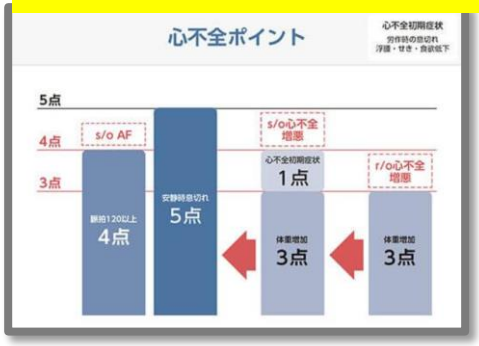
令和6年度福岡県循環器病総合支援センター・福岡産業保健総合支援センター企画　脳卒中の両立支援事例検討（医療従事者向け）2024年9月27日開催　参加39名

2. 医療従事者向け研修会　　R6年度

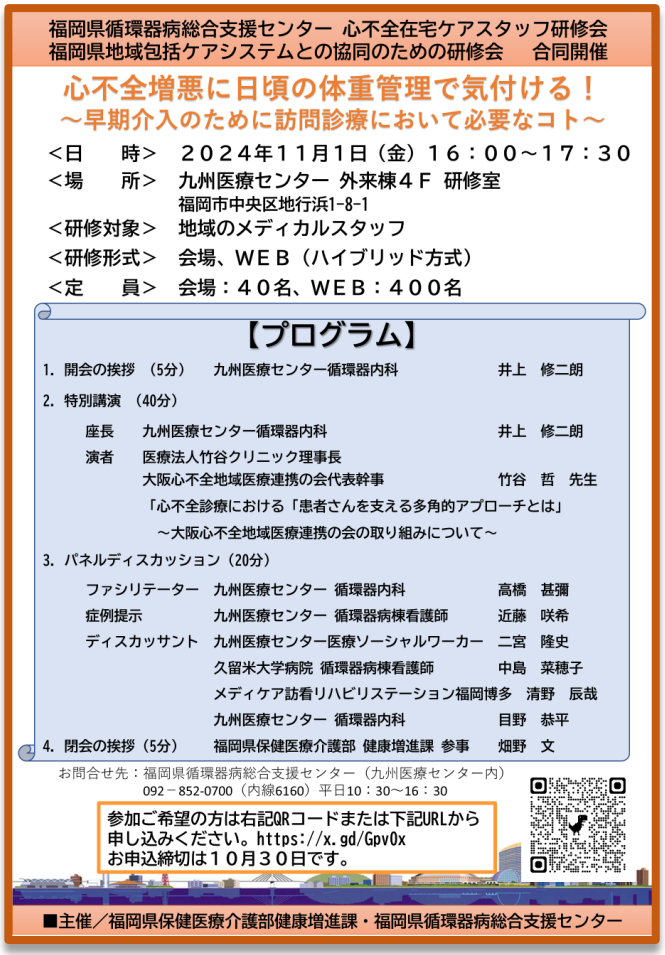
心不全ポイントを地域の看護介護に生かす

- 「むくみがある」「食欲がない」などの自覚症状があるなら（いくつあっても）　**心不全ポイント1点**
- 退院時から体重が一定以上増減したら3点
- 1分間の脈拍が120回を超えたら4点
- 横になれないほどの息苦しさがあるなら5点と評価

現在、福岡市（西部）・糸島医療圏で心不全ノートを共通ツールとするネットワークを構築中



中根英策ほか：大阪心不全地域医療連携の会」（Osaka Stops Heart Failure（OSHEF）資料



福岡県循環器病総合医療センターで保健師、ケアマネージャー・ヘルパー向けに研修会開催　参加150名

2. 医療従事者向け研修会　　R5年度　R6年度

脳卒中病院前救護　救急救命士を対象とした研修会
福岡県防災危機管理局消防防災指導課を通じて案内
（公）日本脳卒中協会福岡県支部との共催

第 16 回福岡県 PSLS 講習会

PSLS: Prehospital Stroke Life Support （病院前脳卒中救護）
令和 5 年 11 月 17 日（金曜日）、九州医療センター講堂
主催：(公社) 日本脳卒中協会福岡県支部、福岡県循環器病総合支援センター
国立病院機構九州医療センター
後援：日本臨床救急医学会

13:00～13:10
1．開会のあいさつ
国立病院機構 九州医療センター 病院長　岩崎　浩己

13：10～14：50
2．講演　司会　九州医療センター　臨床研究推進部長・脳血管センター部長　杉森　宏
①変貌する脳卒中医療と鑑別すべき救急疾患　＜30 分＞
九州医療センター　脳血管・神経内科　森　興太
②血栓回収療法の適応となる脳主幹動脈閉塞患者のみかたと脳血管内治療　＜25 分＞
九州医療センター　脳血管内治療科科長　徳永　聡
③抗凝固療法中の頭蓋内出血における中和剤投与の実際　＜20 分＞
福岡脳神経外科病院　副院長　矢坂　正弘
④脳血管障害に対する脳神経外科手術について　＜25 分＞
九州医療センター　脳神経外科医長　西村　中

14:50～15:05　＜休憩＞

15:05～15:20
3．PSLS　脳卒中の見方
九州大学病院　救命救急センター　生野　雄二

15:20～15:50
4．PSLS　実演と実習（ACT-FAST, CPSS, 主幹動脈閉塞スケールなど）
九州大学病院　救命救急センター　生野　雄二
九州医療センター脳血管・神経内科　森　興太

15:50～16:00
5．総括と閉会のあいさつ
（公社）日本脳卒中協会福岡県支部長
福岡県循環器病総合支援センター実務統括　岡田　靖

R5年参加者　80名

第 17 回福岡県 PSLS 講習会

PSLS: Prehospital Stroke Life Support （病院前脳卒中救護）
令和 6 年 11 月 15 日（金曜日）、九州医療センター講堂
主催：(公社) 日本脳卒中協会福岡県支部、福岡県循環器病総合支援センター
国立病院機構九州医療センター
後援：日本臨床救急医学会、福岡県

13:00～13:10
1．開会のあいさつ
国立病院機構 九州医療センター 病院長　岩崎　浩己

13：10～14：20
2．講演　司会　九州医療センター　臨床研究推進部長・脳血管センター部長　杉森　宏
①変貌する脳卒中医療と鑑別すべき救急疾患　＜30 分＞
九州医療センター　脳血管・神経内科　森　興太
②血栓回収療法の適応となる脳主幹動脈閉塞患者のみかたと脳血管内治療
最近の話題　＜20 分＞
九州医療センター　脳血管内治療科科長　徳永　聡
③脳血管障害に対する脳神経外科手術について　＜20 分＞
九州医療センター　脳神経外科医長　西村　中

14:20～14:35　＜休憩＞

14:35～15:05
3．PSLS　脳卒中の見方
九州大学病院　救命救急センター　生野　雄二

15:10～15:50
4．PSLS　実演と実習（ACT-FAST, CPSS, 主幹動脈閉塞スケールなど）
九州大学病院　救命救急センター　生野　雄二、賣豆紀里美
九州医療センター脳血管・神経内科　森　興太

15:50～16:00
5．総括と閉会のあいさつ
（公社）日本脳卒中協会福岡県支部長
福岡県循環器病総合支援センター実務統括　岡田　靖

R6年参加者　59名

3. 県民向け啓発活動　R5年度　R6年度

健康ハートの日と世界脳卒中デー ライトアップ

2023年10月29日

2024年8月10日

福岡県公会堂（旧貴賓館）

3. 県民向け啓発活動　R5年度

心血管インターベンション学会2023
CVIT市民啓発

DJ KOOもトークショーに参加

2023年8月6日PayPayドーム

3. 県民向け啓発活動　R5年度

心血管インターベンション学会CVIT市民啓発

2023年8月6日
PayPayドーム

第３会場
(公社)脳卒中協会
福岡県支部・北九州
支部と合同でミニレ
クチャーで市民啓発

3. 県民向け啓発活動　R6年度

第4回日本不整脈心電学会 九州・沖縄支部地方会
会長：中村俊博　国立病院機構九州医療センター 循環器内科

参加費 無料（事前申込制）
定員 30名

市民公開講座

心臓突然死を知り、AED で救命する

日時 2024年6月1日(土)　14:00 - 15:30
会場 アクロス福岡 2階 セミナー室 1, 2
共催 福岡県循環器病総合支援センター
後援 日本光電工業株式会社、福岡県医師会、福岡市医師会

【プログラム】

第１部 特別講演 14:00-14:30 (30分)

「国内の心臓突然死の現状と、その後の社会復帰」
講師　安部治彦先生
産業医科大学 不整脈先端治療学 教授
座長　井上修二朗
国立病院機構 九州医療センター 循環器内科

第２部 AED講習会 14:30-15:30 (60分)

心肺蘇生, AEDって？AEDの使い方体験講習
身近な人, 周りの人を救うために　日本光電工業株式会社

参加申込方法

参加希望の方は右記URLもしくはQRコードからアクセスの上、Webフォームにてお申し込みください。申し込み先着順で参加者を決定し、定員に達し次第申込を締め切ります。
(https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfjsXGNXDkDejHgUKDR6U84TVqbyVkoOt2yBoGSprtlI6SQeA/viewform)

お問合わせ先　福岡県循環器病総合支援センター（国立病院機構九州医療センター内）
電話番号：　092-852-0700 (内線6160)
E-mailアドレス：　harashima.fumiko.gh@mail.hosp.go.jp

2024年度　心臓病は日本不整脈心電学会（福岡）
市民公開講座でAED講習会
2024年6月１日

4. 医療従事者向け資材の情報提供　R5年度

県内一次脳卒中センターおよび回復期リハビリテーション病院に情報提供

掲載先URL：
https://www.jsts.gr.jp/consultation/index.html

5. 患者向け資材の情報提供と地域連携　R5年度

福岡県の脳卒中地域連携
脳卒中あんしん連携ノート

福岡県循環器病総合支援センター発行2023

掲載先
https://kyushu-mc.hosp.go.jp/outpatient/nousottyu.html

5. 患者向け資材の情報提供と地域連携　R6年度

ハートノート活用し、心不全再入院を予防

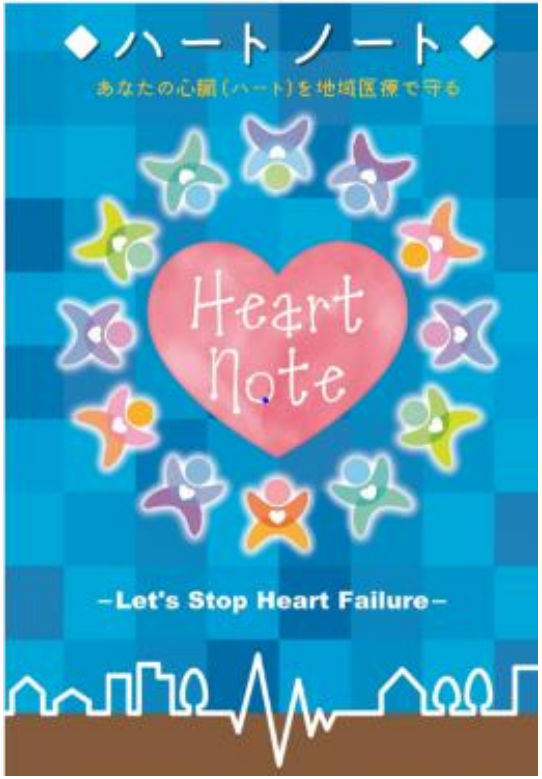
初回入院時に多職種でチーム医療介入

心不全の病態などを患者家族が理解できるように教育（患者参加型診療）

心不全療養指導士の活躍
（日本循環器学会・日本心不全学会認定）

自分の心臓を理解し、うまく付き合い、セルフコントロール

心不全ポイントで予定外受診リスクの共通認識として使用



中根英策ほか：大阪心不全地域医療連携の会」
（Osaka Stops Heart Failure（OSHEF）資料

5. 患者向け資材の情報提供と地域連携　R6年度

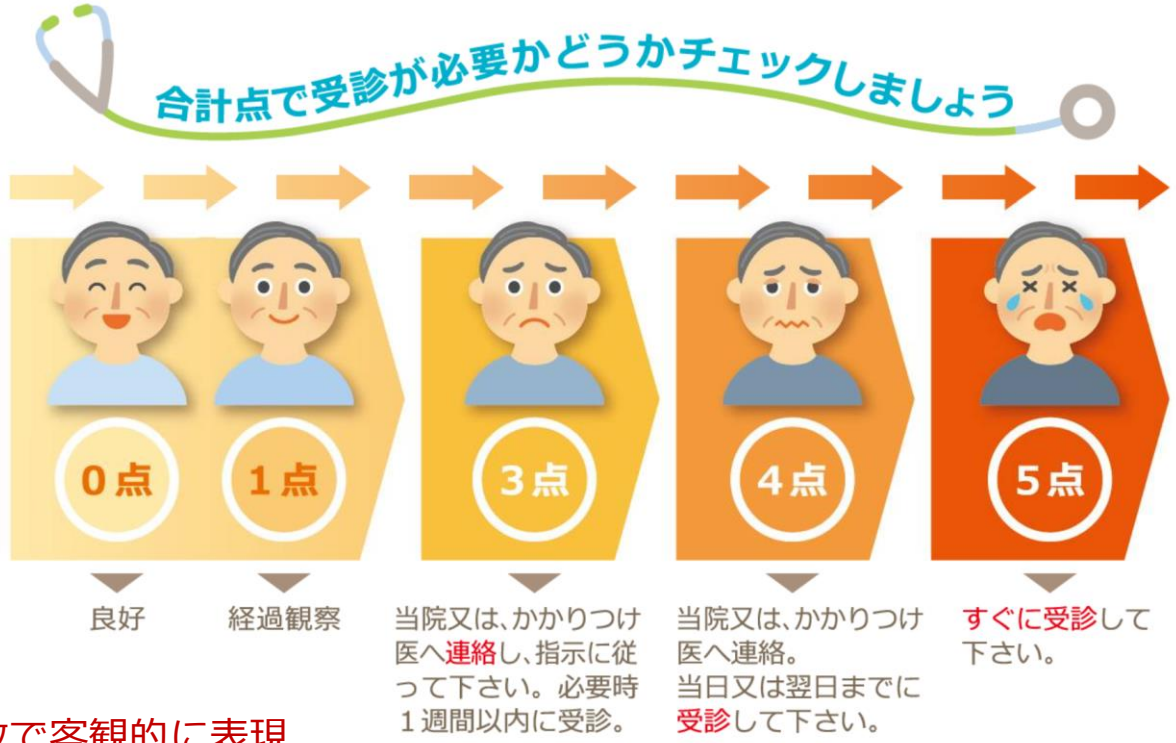
心不全ポイントを予定外受診時の共通言語として使用

安静時の息切れ・息苦しさ
5点

脈拍≧ 120回/分
4点

体重増加（予め設定体重）
3点

自覚症状の出現
1点



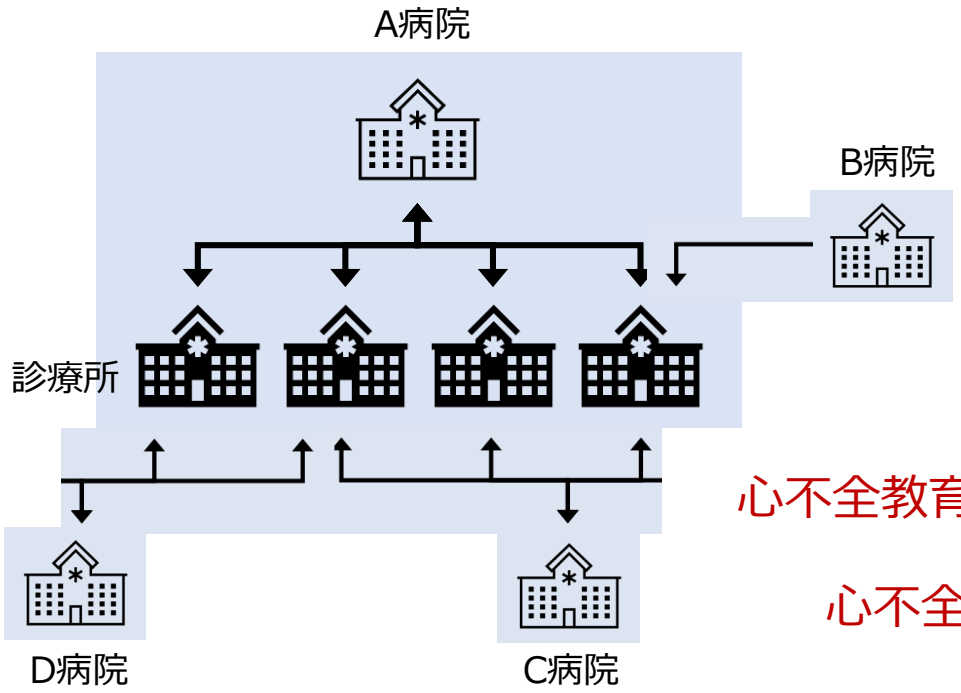
心不全悪化状況を点数で客観的に表現
多職種の共通言語で、分かりやすい受診行動へ

大阪心不全の会監修ツール

井上修二朗：福岡県循環器病対策セミナー～心不全について考える～2024年9月18日、福岡

5. 患者向け資材の情報提供と地域連携　R6年度

地域で心不全を診る 意識作り



心不全教育やツールの共通化

心不全入院 予防強化

井上修二朗：福岡県循環器病対策セミナー～心不全について考える～2024年9月18日、福岡

5. 患者向け資材の情報提供と地域連携　R6年度

再入院防止を目的とした病診連携

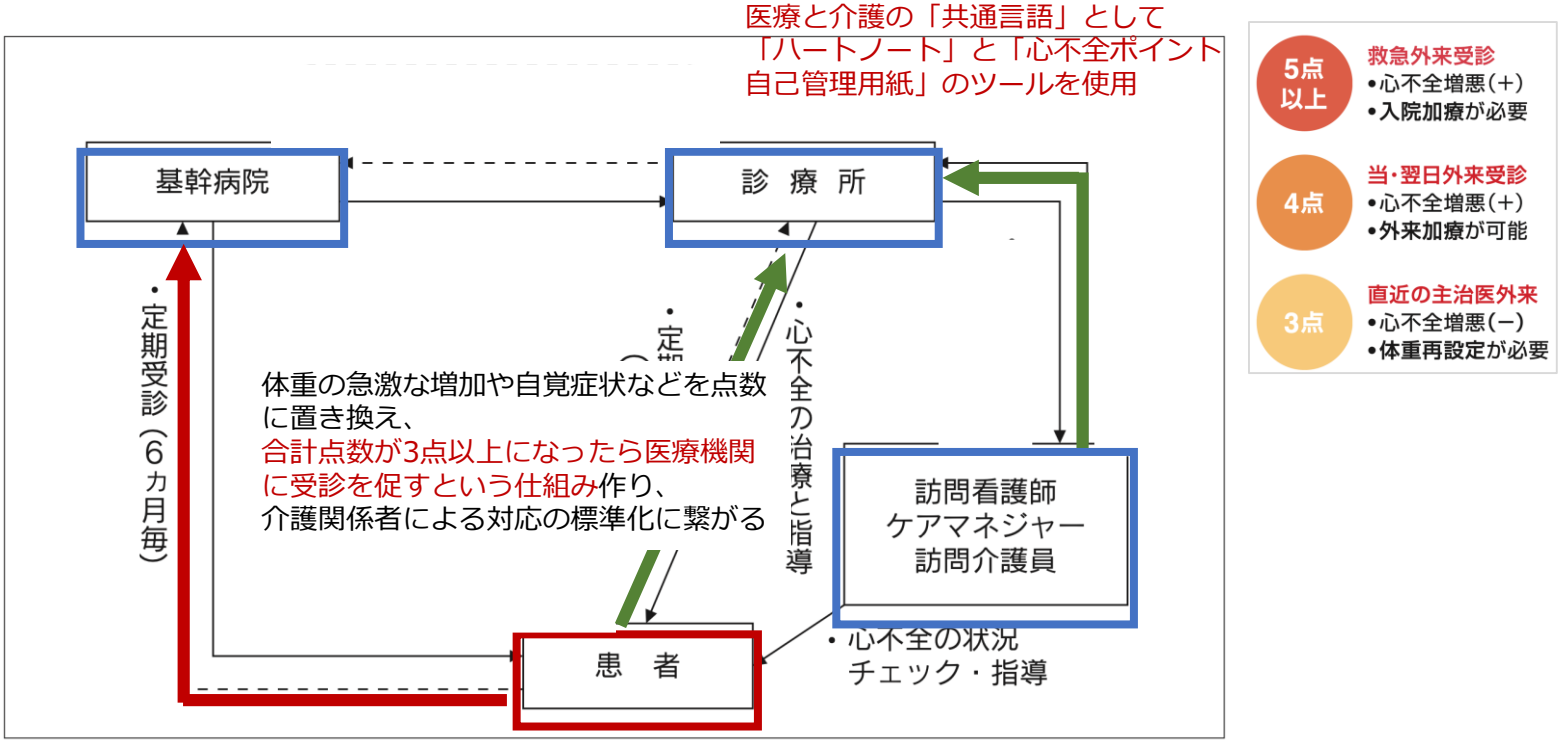


図 4　再入院防止を目的とした病診連携　　循環器専門医 2018年 27巻 P36-42

井上修二朗：福岡県循環器病対策セミナー～心不全について考える～2024年9月18日、福岡

6. 関係団体との情報共有　R5年度

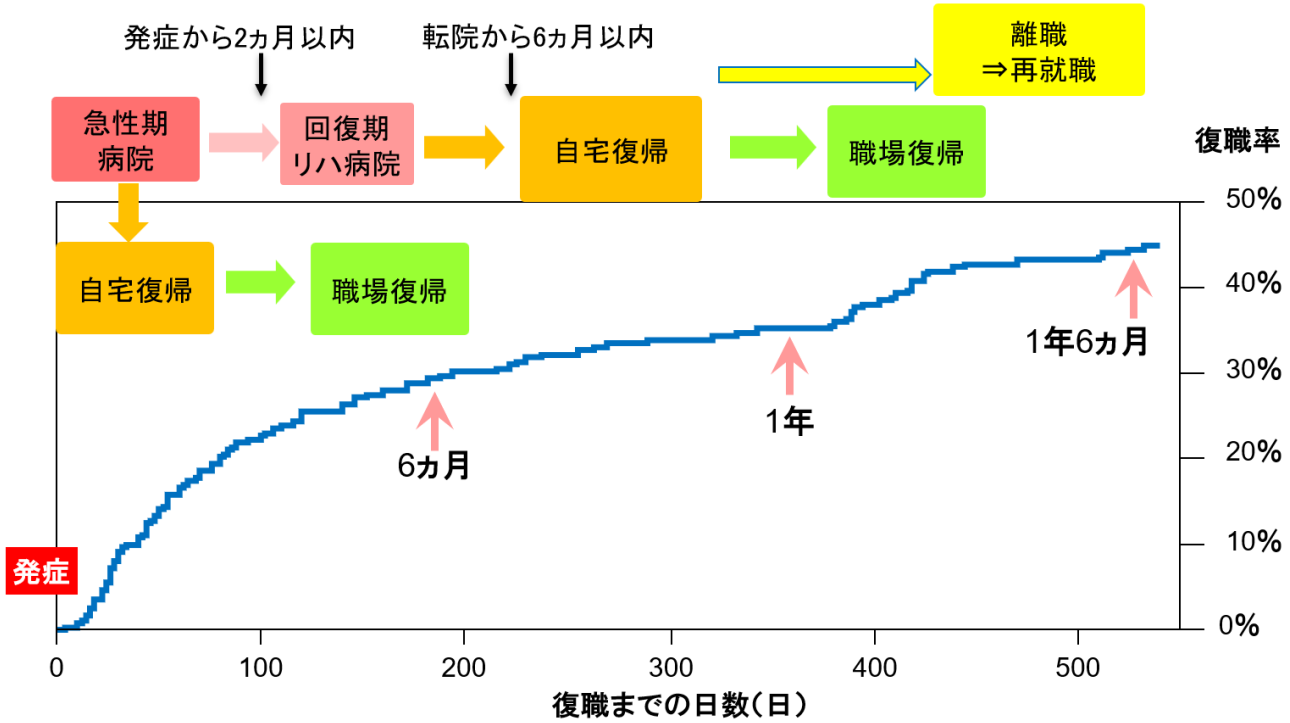
脳卒中の多職種連携を推進するSCPA-J福岡県支部を開設
R6年3月

https//　www.scpaj.jp

13団体の連合体
日本脳卒中学会　日本脳卒中協会　日本医療ソーシャルワーカー協会
日本理学療法士協会　日本作業療法士協会　日本言語聴覚士協会
日本脳神経看護研究学会　日本ニューロサイエンス看護学会
日本薬剤師会　日本病院薬剤師会　日本栄養士会　日本介護支援専門員協会

7. 循環器病に関する実態把握調査への協力　R5年度　R6年度

脳卒中後の復職状況に関する調査（厚労科研）



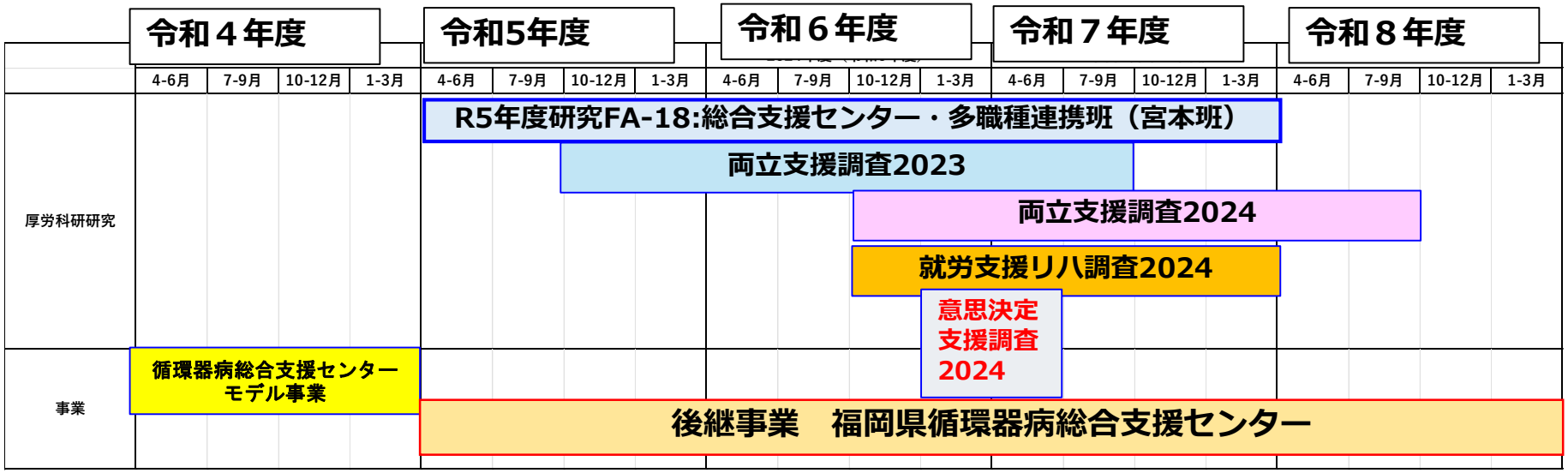
福岡県PSC 45施設
回復期リハ 68施設

1) Saeki,J Rehab Med, 2010. Endo, BMJ, 2017

- 脳卒中後の復職は　発症後３ヵ月～６ヵ月頃と，１年～１年６ヵ月後のタイミングが多いとされている
- しかし、悉皆性のあるデータに基づいた正確な、復職率はわかっていない
- 「療養・就労両立支援料」の算定は難しいという現場の声があるが、算定状況や算定困難な理由を示す正確なデータがない

令和５年度厚労科研費FA-18
回復期以降の循環器病に対する多職種連携による患者支援体制の充実・普及に資する研究（主任研究者：宮本　享）

7. 循環器病に関する実態把握調査への協力　R5年度　R6年度



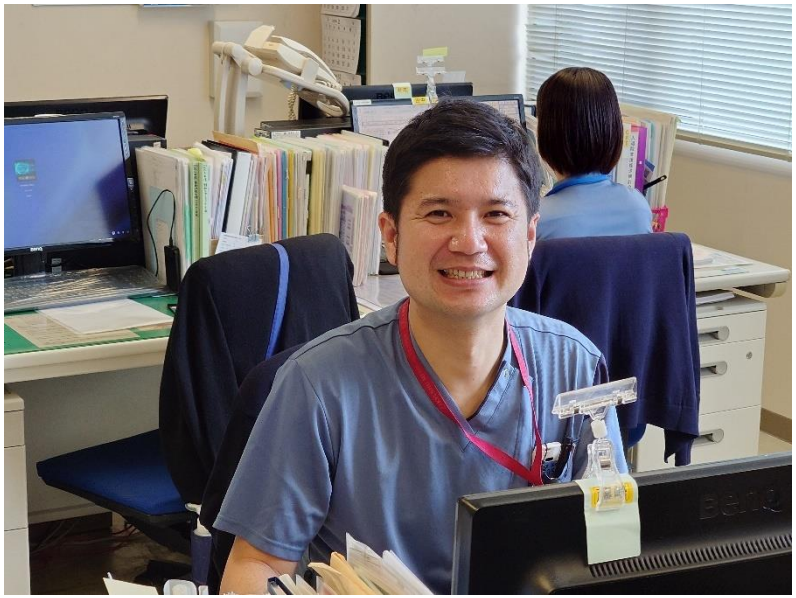
＊意思決定支援調査2024は 就労支援リハ調査2024と同時並行

厚労科研（宮本班）2024資料を一部改変

８．相談支援体制強化　両立支援コーディネータ育成　R6年度

脳卒中患者に対する相談・支援の強化
医療ソーシャルワーカー兼両立支援コーディネータ（R6年度研修修了）の活動紹介

医療ソーシャルワーカーはそれぞれ病棟担当があり、地域医療連携室で看護師と情報共有



地域医療連携先の説明とリハビリ、就労課題に関して個別相談に対応関係機関と連携

第2期循環器病対策推進基本計画と脳卒中と循環器病克服5ヵ年計画が目指すもの

第一次5ヵ年計画

第二次5ヵ年計画

第三次5ヵ年計画

第四次5ヵ年計画

医療の質向上
QOL・QOD向上

循環器病の患者支援・相談支援

循環器病の予防と正しい知識の普及啓発

医療費の伸び抑制

2016 (2015年基準) 2021 2026 2031 2036

脳卒中と循環器病の年齢調整死亡率の減少

▲5%

▲5%

発症予防・重症化予防

循環器病の研究推進

男性:9年
女性:12年

平均寿命の延伸

健康寿命の延伸

2040年までに3年以上の健康寿命延伸

平均寿命と健康寿命の乖離縮小

ELQ32G021G

日本脳卒中学会・日本循環器学会ほか. 脳卒中と循環器病克服第二次5ヵ年計画. 2021に一部加筆

本日のまとめ

1.福岡県循環器病総合支援センターの令和5年度、令和6年度の活動（相談実績、医療従事者向け研修実績、県民啓発活動、参考資材の情報提供、関係団体との情報共有、調査協力等）について報告した。

2.今後は県内医療機関との連携による相談支援体制の拡充、各地域での研修推進と脳卒中、心臓病に関する地域連携を推進する

3.患者支援では治療と仕事の両立が脳卒中・循環器病患者まで広がってきており、福岡産業保健支援センターと連携し推進する

4.福岡県循環器病対策推進計画の一翼を担い、循環器病患者の多職種連携によるさらなる支援を推進する